

住みやすさナンバーワン！
世代が交わり紡いでいくにぎわいあるまちづくり

行仁地域づくりビジョン

令和 6（2024）年度～令和 8（2026）年度



令和 7（2025）年 3 月 17 日

行仁まちづくり協議会

目次

1. ビジョン策定の目的	1 P
2. ビジョンの趣旨	2 P
3. ビジョンの期間	4 P
4. 地域づくりのテーマ・基本目標	4 P
5. 分野別目標・活動の柱	5 P
6. 組織体制	6 P
7. 地域づくりビジョン策定委員	7 P
8. 【資料】地区の概要（地域カルテ）	9 P

1. ビジョン策定の目的

行仁地区は、会津若松市の中心部に位置する市街地です。会津藩の城下町として職人や商人が多く住み、現在も寺社仏閣が街中に残る歴史深い地区です。

近年では、全国的に人口減少が進み、少子化・高齢化の進展に伴い、市内の各地区で様々な地域の課題が顕在化しております。行仁地区においては、人口規模は大きいですが、昔から各種団体連絡協議会を中心に、地域行事を積極的に開催してきた経過がありますが、近年では新型コロナウイルス感染症や人口減少、地域の担い手の高齢化等により、地域内のつながりが希薄化している状況にあります。

そうした地域の課題について考えるため、令和3年度より未来デザイン会議を開催し、区長会を中心として各種団体が連携し、「よりよい住みよい地域」に向けた検討を行ってまいりました。

上記の経過を受けて、これまでの地域の素晴らしい取り組みを活かしながら、行仁地区の自慢と誇りを再確認し、地域の課題を解決するために考え、実践することを通して、子育て環境の充実、地域住民の福祉の増進、産業の振興、生活文化の振興等に寄与すると共に、協働による地域づくりを推進していくため、行仁まちづくり協議会が設立されました。

協議会の目的（行仁まちづくり協議会規約第3条）

（目 的）

第3条 本会は、会津若松市行仁地区において、地域の自慢と誇りを再確認し、地域の課題を解決するために考え、実践することを通して、地域住民の福祉の増進、子育て環境の充実、産業の振興、生活文化の振興等に寄与すると共に、協働による持続可能な地域づくりを目的とする。

地域づくりビジョンは上記を達成するために、各町内会単位を含めた地域の特性を相互に理解し、取組の方向性や実践方法を定め、地域全体で共有・連携して、取り組みを効果的に進めていくことを目的として策定します。

<ビジョン策定の経過>

令和6(2024)年 6月24日	行仁まちづくり協議会設立
令和6(2024)年 7月8日	第1回行仁地区まちづくりワークショップ
令和6(2024)年 8月8日	第2回行仁地区まちづくりワークショップ
令和6(2024)年 9月9日	第3回行仁地区まちづくりワークショップ
令和6(2024)年 10月21日	第4回行仁地区まちづくりワークショップ
令和6(2024)年 11月11日	第5回行仁地区まちづくりワークショップ
令和6(2024)年 12月9日	第1回行仁まちづくり協議会定例会
令和7(2025)年 1月20日	第2回行仁まちづくり協議会定例会
令和7(2025)年 2月10日	第3回行仁まちづくり協議会定例会（臨時総会） ※大雪のため中止
令和7(2025)年 3月17日	第4回行仁まちづくり協議会定例会（臨時総会）

2. ビジョンの趣旨

(1) ビジョンの策定の考え方

『地域ビジョン策定ワークショップで抽出した「地域の課題」に対して、「地域資源」を活用しながら、「地域に必要な機能(あったらいいな)」を実現させていく』ことを基本的な考え方として策定しました。

■地域の課題

- ◆ 空き家が増えている
- ◆ 除雪(除雪車が置く雪が山になる、雪捨て場が少ない・わからない)
- ◆ 集会所がない(気軽に集まる場所→楽しくおしゃべりしたい)
- ◆ 子どもの遊び場所が欲しい
- ◆ 町内に子どもが少ない
- ◆ 子どもが少なく町内子ども会ができない
- ◆ 若い人がいない、若者不足
- ◆ 高齢化が進んでいる
- ◆ 若い人が町内会に参加しないため町内会が存続できない
- ◆ 町内会の役員になる人がいない(担い手不足)
- ◆ コミュセンにホームページを作る(情報の共有)

■行仁地区の強み・地域資源

- ◆ 神社仏閣がたくさんある
- ◆ 深い歴史を感じる
- ◆ 災害が少ない
- ◆ 便利、市の中心部・駅に近い
- ◆ 住みやすい環境である
- ◆ ボウリング場がある(若松に1つ)
- ◆ プールがある
- ◆ スーパーが多く買い物が便利
- ◆ 飲み屋(飲食店)が多い・近い
- ◆ 名倉山・辰泉・会州一の酒蔵がある
- ◆ 最新の学校施設
- ◆ 小学生がしっかりあいさつできる
- ◆ コミュセンを中心にまとまりがある、慕われている
- ◆ やさしい人が多い
- ◆ 助け合いの気持ちを持っている(住民同士のつながり)
- ◆ あいさつ(隣近所の声の掛け合い)、月2回のあいさつ運動
- ◆ 昔からの地域なのでみんな顔見知りが多い

■地域に必要な機能(あったらいいな)

※主なもの

<残したい活動>

- ◆ いきいき百歳体操
- ◆ コミュセンのそば祭り
- ◆ コミュセン主催の新年会
- ◆ 各町内会の活発な活動
- ◆ 行ってみっ会等のサロン活動
- ◆ 歳の神
- ◆ 神社祭礼(お日市)
- ◆ 町民運動会
- ◆ 高齢者宅への声かけ、見守り
- ◆ 防災への情報

<足りない活動>

- ◆ 不参加の人の勧誘をどうするか
- ◆ 大人の町民運動会
- ◆ 地区全体のお祭り
- ◆ 町内会でのイベント
- ◆ コミュセンの維持
- ◆ 町内活動を広め参加者を増やす
- ◆ 交流サロン(子供と大人のサロン)
- ◆ お祭りなどの周知
- ◆ 除雪から排雪まで

<必要な取組>

- ◆ ラジオ体操(子供+大人)
- ◆ 学校の除草、やってくれたら給食食べられる
- ◆ 世代間交流
- ◆ 災害時の高齢者宅の確認
- ◆ 小学校の活用
- ◆ 街灯や排水路などの環境整備
- ◆ 空き家の活用
- ◆ 空家のリフォーム(助成金があれば嬉しい)
- ◆ 空家を利用して町内会の集会ができれば
- ◆ ニーズ調査
- ◆ 参加しやすい仕組みを考える
- ◆ 若い人の声を聴く
- ◆ 若者が残りたい、戻りたいと思う地域づくり

(2)ビジョンの位置付け

この計画は、会津若松市自治基本条例の理念に基づき行仁地区におけるまちづくりを行う上での基盤となるものであり、住民と地区が目標を共有し、協働して地域づくりを進めていくための基本指針となるものです。

3. ビジョンの期間

この計画は、市の総合計画と期間を合わせる形とし、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3ヶ年の期間とします。

3ヶ年の事業サイクルを回した後、第2次ビジョンは市の次期総合計画と期間を合わせる形で中間地点までの5ヶ年と想定します。

	2024	2025	2026	2027~ 2031	2032~ 2036
	R6	R7	R8	R9~ R13	R14~ R18
市総合計画	会津若松市第7次総合計画			会津若松次期総合計画 (計画期間：10年間)	
行仁地域づくりビジョン	1次ビジョン (R6~8)			2次ビジョン (R9~13)	3次ビジョン (R14~18)

※ポイント

市の総合計画と期間を合わせる

事業構想サイクルがやりやすい期間(計画→実行→評価→改善)

4. 地域づくりのテーマ・基本目標

(1) 地域づくりのテーマ

住みやすさナンバーワン！

世代が交わり紡いでいくにぎわいあるまちづくり

(2)基本目標

施設・歴史・文化・人材・自然環境などの地域の資源をフル活用し、様々な主体との連携・協働や子どもからお年寄りまでの世代を超えた協力によって、将来にわたって安全・安心に住み続けられる魅力的な行仁地区にしていきます。

5. 分野別目標・活動の柱

◆ 人と人がつながるまちづくり部会

分野別目標 安全・安心で思いやりのあるつながりのまちづくり

活動の柱 ○地域のつながりを作るための情報共有
○思いやりによる人と人とのつながりづくり
○助け合いによる安全・安心な地域づくり

◆ ふらっとふくし部会

分野別目標 優しくつながるまちづくり

活動の柱 ○集まる場所をつくる
○交流の機会をつくる
○要援助者の把握

◆ 行仁みらい子育て・若者部会

分野別目標 文教地区No.1 の安全なまちづくり

活動の柱 ○子どもから若者が集まれる居場所づくり
○世代を超えたイベントづくり
○文教地区を目指す
○安全な環境づくり

◎部会の枠を越えて協議会全体で取り組むもの

○自主財源の確保

継続して自主的な事業運営ができるよう、様々な自主財源の確保に取り組めます。

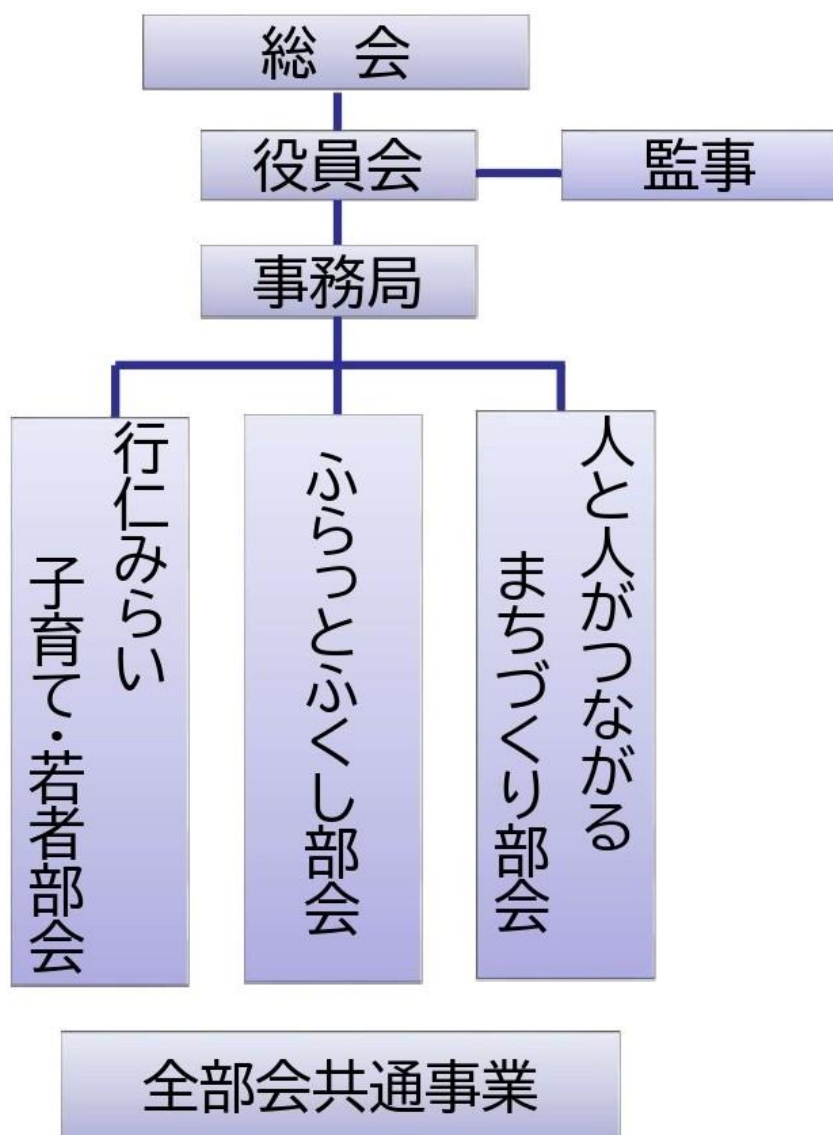
○事務局体制の強化

地域が主体となり、組織運営の事務を円滑に行う体制づくりに取り組めます。

6. 組織体制

下記の組織体制で、分野ごとに地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。

行仁まちづくり協議会 組織図 (令和7(2025)年3月～)



8.【資料】地域カルテ

(1) 地区の概要

ア 地理

行仁地区は、会津若松市の中心部に位置する市街地です。

会津藩の城下町として職人や商人が多く住み、現在も寺社仏閣が街中に残る歴史深い地区です。また、駅や買い物施設が徒歩圏内にあり、良好な住環境が広がる市内でも人口が多い地区です。

比較的平坦な地形が広がり、寺社仏閣の周囲を中心に自然環境にも恵まれており、季節ごとの美しい風景が楽しめます。

地区の東西には国道121号線と県道64号線が通っており、交通のアクセスも良好です。

イ 地区の概要

町内会

- ・ 滝沢町一丁目
- ・ 滝沢町二丁目
- ・ 滝沢町三丁目
- ・ 蚕養町一丁目
- ・ 行人町一丁目
- ・ 行人町二丁目
- ・ 行人町三丁目
- ・ 上野伏町
- ・ 東名子屋町
- ・ 寺町
- ・ 本郷町
- ・ 堀江町
- ・ 中六日町一丁目
- ・ 中六日町二丁目
- ・ 中六日町三丁目
- ・ 中六日町四丁目
- ・ 本六日町
- ・ 竪三日町上之区
- ・ 竪三日町中之区
- ・ 竪三日町下之区
- ・ 屋敷町
- ・ 千石町一之区
- ・ 千石町二之区
- ・ 千石町三之区

- ・ 愛宕町
- ・ 阿弥陀町
- ・ 博労町一丁目
- ・ 博労町二丁目
- ・ 博労町三丁目
- ・ 博労町四丁目
- ・ 上五之町
- ・ 花園町
- ・ 馬場上五之町
- ・ 花畑東
- ・ 桧
- ・ 平安町
- ・ 甲賀町三丁目
- ・ 八角
- ・ 八角中村
- ・ 馬場名子屋町

交通

- ・ 国道121号線
- ・ 福島県道64号会津若松裏磐梯線
- ・ ハイカラさん・あかべえ・エコろん号
- ・ 会津バス 千石・神明線
- ・ 会津バス 松長団地・西若松駅線
- ・ 会津バス 金堀線
- ・ 会津バス 米代・河東線
- ・ 会津バス 河東・湊線
- ・ JR 磐越西線

学校

- ・ 会津若松市立行仁小学校
- ・ 会津若松市立第一中学校
- ・ 会津北嶺高等学校

ウ 人口構成

① 大字別人口推移(5 年ごと)

(単位:人)

大字名	年				増減率(%)
	2009	2014	2019	2024	2009 年度対比
滝沢町	557	541	487	431	77.4%
蚕養町	527	512	507	462	87.7%
昭和町	195	190	274	253	129.7%
馬場本町	322	289	251	249	77.3%
相生町	517	541	517	475	91.9%
上町	671	643	589	553	82.4%
旭町	805	837	828	809	100.5%
行仁町	660	608	569	524	79.4%
宮町	893	894	812	741	83.0%
千石町	1154	1129	1077	977	84.7%
花畑東	408	404	416	411	100.7%
平安町	94	91	74	81	86.2%
桧町	603	577	565	514	85.2%
八角町		677	653	594	87.7%
合計	7,406	7,933	7,619	7,074	95.5%

※各年 6 月 1 日時点

※八角町の増減率は 2014 年度対比

② 大字別世帯推移(5 年ごと)

(単位:人)

大字名	年				増減率
	2009	2014	2019	2024	2009 年度対比
滝沢町	256	256	244	230	89.8%
蚕養町	259	262	265	241	93.1%
昭和町	92	95	191	188	204.3%
馬場本町	143	137	132	124	86.7%
相生町	239	262	258	264	110.5%
上町	333	348	349	336	100.9%
旭町	357	386	392	384	107.6%
行仁町	308	306	284	272	88.3%
宮町	434	440	426	399	91.9%
千石町	538	537	526	493	91.6%
花畑東	171	179	182	199	116.4%
平安町	42	42	37	40	95.2%
桧町	244	247	246	249	102.0%
八角町		316	326	311	98.4%
合計	3,416	3,813	3,858	3,730	109.2%

※各年6月1日時点

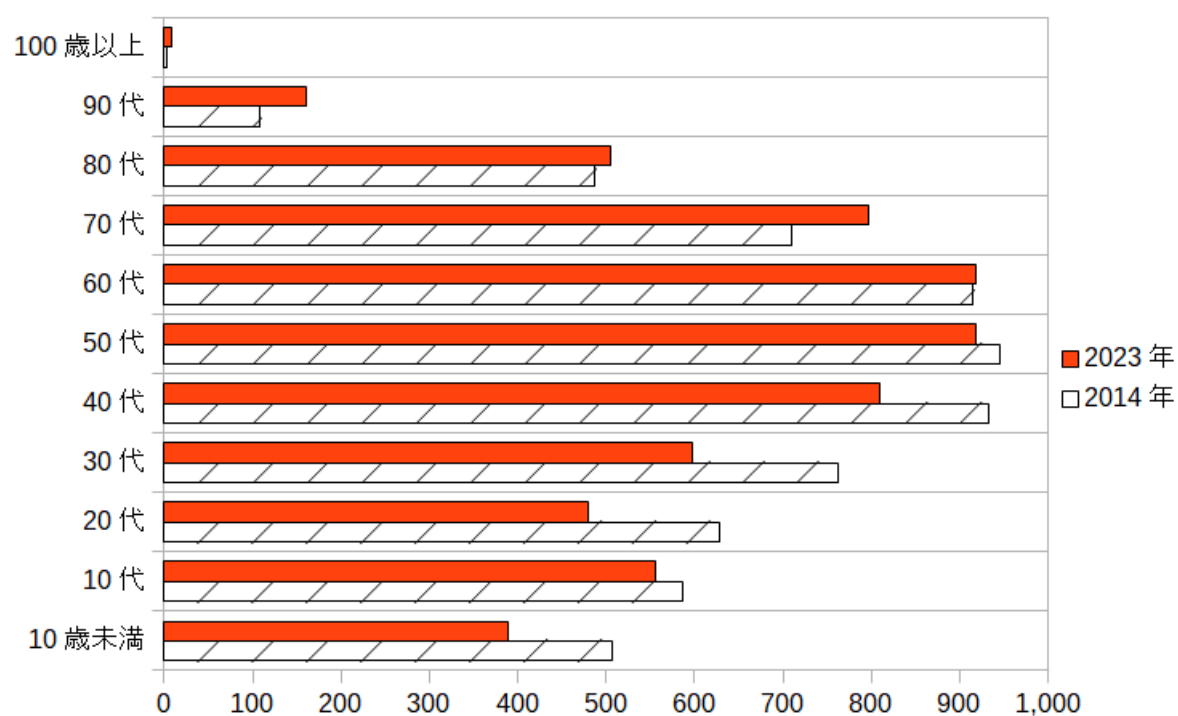
※八角町の増減率は2014年度対比

③ 年代別住基人口(2024 年 4 月 1 日現在)

(単位:人)

	0～ 9 歳	10～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70～ 79 歳	80～ 89 歳	90～ 99 歳	100 歳 以上	合計
2014 年	506	586	628	763	933	946	915	709	487	108	3	6,584
2023 年	389	556	480	598	810	919	919	797	505	160	8	6,141
増減 率	76.9%	94.9%	76.4%	78.4%	86.8%	97.1%	100.4%	112.4%	103.7%	148.1%	266.7%	93.3%

※滝沢町・宮町は含まれていない



④ 児童生徒数の推移

○2010 年 5 月 1 日時点

(単位：人)

学校名	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計
行仁小	59	68	65	69	60	58	379
一中	156	191	154				501
合計							880

○2014 年 5 月 1 日時点

(単位：人)

学校名	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計
行仁小	50	56	39	66	57	61	341
一中	191	165	179				535
合計							876

○2019 年 5 月 1 日時点

(単位：人)

学校名	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計
行仁小	37	49	49	40	51	53	279
一中	153	137	177				467
合計							740

○2024 年 5 月 1 日時点

(単位：人)

学校名	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計	増減率 (2010 年度)
行仁小	41	49	58	43	41	38	270	71.2%
一中	147	146	108				401	80.0%
合計							671	76.2%